

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人ヤマト自立センターは、障がい者の自立と社会参加を目的に令和 6 年度事業計画に基づき、スワン工舎として就労移行支援事業ならびに就労定着支援事業と就業・生活支援センターで連携して就労支援を推進いたしました。

1. 本部活動

〔1〕 令和 6 年 5 月 30 日 第 1 回 理事会開催

〔決議事項〕

第 1 号 令和 5 年度事業報告

第 2 号 令和 5 年度計算書類等の承認

第 3 号 定時議員会招集事項の承認

〔報告事項〕

第 1 号 新座市による「障がい者虐待と思われる事案にかかる通報の調査結果」の対応について

第 2 号 社会充実計画策定について（非該当）

〔2〕 令和 6 年 6 月 14 日 定時評議員会開催

〔決議事項〕

第 1 号 令和 5 年度決算報告書（計算書類等）承認の件

〔報告事項〕

第 1 号 第 19 期（令和 5 年度）事業報告の件

第 2 号 第 19 期（令和 5 年度）社会福祉充実残額における福祉充実計画策定（非該当）の件社

第 3 号 埼玉県福祉部による実地指導の結果について

第 4 号 新座市による「障がい者虐待と思われる事案にかかる通報の調査結果」の対応について

〔3〕 令和 6 年 8 月 9 日 第 2 回 理事会開催

〔決議事項〕

第 1 号 就業規則・パート就業規則変更の件

第 2 号 臨時評議員会招集の件

〔報告事項〕

第 1 号 新座市による「障がい者虐待と思われる事案にかかる通報の調査結果」の対応について

- [4] 令和 6 年 8 月 9 日 臨時評議員会開催
〔報告事項〕
第 1 号 新座市による「障がい者虐待と思われる事案にかかる
通報の調査結果」の対応について
- [5] 令和 6 年 11 月 8 日 第 3 回 理事会開催（書面：決議の省略）
〔決議事項〕
第 1 号 スワン工舎新座の増改築について
- [6] 令和 6 年 12 月 17 日 第 4 回 理事会開催
〔決議事項〕
第 1 号 人事制度改正の件
第 2 号 就業規則・給与規程 改訂の件
第 3 号 「スワン公舎新座増改築工事」設計会社の
選定について
〔報告事項〕
第 1 号 上期事業報告
- [7] 令和 7 年 1 月 24 日 第 5 回 理事会開催（書面：決議の省略）
〔決議事項〕
第 1 号 スワン工舎新座サービス管理者の変更について
第 2 号 弁護士との委任契約書締結について
- [8] 令和 7 年 3 月 26 日 第 6 回 理事会開催
〔決議事項〕
第 1 号 第 21 期（令和 7 年度）事業計画の件
第 2 号 第 21 期（令和 7 年度）資金収支予算ならびに
事業活動収支予算の件
第 3 号 障害福祉サービス指定内容変更および運営
規程変更の件
第 4 号 評議員候補者の選任ならびに
評議員選任・解任委員会の招集の件
第 5 号 理事候補者の選定の件
〔報告事項〕
第 1 号 新座市通報事案の状況報告について
第 2 号 増改築工事のスケジュールについて
- [9] 令和 7 年 3 月 28 日 評議員会開催（書面：報告の省略）
〔報告事項〕
第 1 号 第 21 期（令和 7 年度）事業計画の件
第 2 号 第 21 期（令和 7 年度）資金収支予算ならびに
事業活動収支予算の件

2. 施設活動

(1) 理念研修と虐待防止研修

①理念研修

職員全員に対し、理念の共有を図るために、理念研修を上期・下期の2回実施。理念の浸透を推進することにより、職員自身の仕事の意義や目的についての意識付けを図った。

②虐待防止研修

外部講師による研修を上期・下期の2回実施。講義だけでなく、討議の時間を持つことで、自身の日々の行動が適正な支援になっているか、の振り返りができた。

(2) 見学会の開催

①特別支援学校を対象に見学会を開催した。参加者は新座40名・羽田44名の合計84名（前年41名）で、主に1、2年生であったが、今後も継続開催することでスワン工舎の認知度向上や利用者確保につながる可能性が大きく、今後も見学会をブラッシュアップしながら継続開催していく。

②12月には新座で初めてオンライン見学会を実施し9名の方が参加。見学者がスワンに足を運ばなくても見学が出来る取り組みとして、今後も定期的に開催していく。

(3) ナカポツとの連携

新座では、就労支援活動において、就業・生活支援センターとの連携による相乗効果を図った。利用者へMWS（幕張ワークサンプル）を毎週木曜日に実施し安定かつ効率的な支援を推進した。

(4) 利用者ミーティングの開催

新たな取り組みとして新座、羽田共に利用者ミーティングを開催。月に1度利用者全員で会社見学や実習の共有、新しい訓練プログラムの提案、施設や職員への要望等を出してもらい、施設的环境を改善し利用者満足の向上に努めた。

(5) 職場改善ミーティングの開催

昨年より引き続き、職場改善ミーティングを毎月開催（オンライン）し、職場代表、各リーダー参加のもと労働時間や施設の問題点、利用者の要望を討議し職場環境の改善を図った。今期より虐待防止委員会、安全衛生委員会も併せて開催、職員全員が参加し事例研究やヒヤリハットの共有等を通じて、安全面の意識の高揚を図った。

3. 施設体制

〔新座〕

項 目	期 首	期 末	差	適 用
利用者(人)	19	12	－7	入 8 名、退 15 名
登録者(人)	611	684	+73	就業・生活支援センター
職員(人)	19	18	－1	
車両(台)	6	5	－1	移行 3 台、センター 2 台

〔羽田〕

項 目	期 首	期 末	差	適 用
利用者(人)	12	11	－1	入 6 名、退 7 名
職員(人)	7	6	－1	
車両(台)	1	1	±0	

4. 補助金、助成金、寄付金の状況

種 別	拠出先・寄付者	金 額 (円)	使 途
補助金	新座市役所	1,334,400	障害者施設体制強化費
補助金	大田区役所	6,983,329	障害者日中活動系推進費等
助成金	ヤマト福祉財団	4,000,000	運営費他
助成金	ヤマト福祉財団	717,873	卒業者の集い
計		13,035,602	
種 別	寄付者	金 額 (円)	使 途
寄附金	ヤマトホールディングス	70,000,000	施設増改築費用
寄附金	ヤマト福祉財団 (カレンダー売上金)	492,171	運営費等
計		70,492,171	

5. 活動報告

(1) 移行支援事業

①サービス内容

i 利用者のニーズに合った個別支援計画を策定し、四半期毎に目標の達成進捗を確認、計画の見直しを行った。職員全員の多角的視点でアセスメントし、利用者を真ん中にした効果的な支援を推進した。

ii ハローワークへの求職登録、地元就労支援センターへの登録、また関係機関との連携等を行った。

iii 医療機関との連携で、心身の健康に関する助言を受けた。朝霞地区歯科医師会、大田区蒲田歯科医師会による歯科検診、歯磨き指導を実施。また定期健康診断や

インフルエンザ予防接種、毎月の検便の実施等、予防対策を実施し日常の健康維持に努めた。

iv 保護者との日常連絡や保護者面談等での意見交換を通じて相互の信頼関係向上に努めた。また、今期から保護者参観を実施。利用者本人の普段の様子を保護者に見てもらい、保護者と職員との懇親の機会を持った。(新座 7 名、羽田 6 名)

v 施設外(日帰り)研修は、公共交通機関の使用やレストランで食事のマナー等、社会のルールを学ぶ事を目的として、しびらきファームにていちご狩りを実施(新座利用者 7 名、羽田利用者 8 名)。施設内においてはクリスマス会を開催した。

vi 新座市地域自立支援協議会、埼玉県立学校運営協議会、大田区就労促進担当者会議、大田区就労移行支援事業所連絡会にメンバーとして活動した。

① 就労実績 15 名(目標 16 名)

NO	就労日	就労先	施設	NO	就労日	就労先	
1	04. 01	クボタワークス(株)	羽田	11	12. 01	(国研) 国立国際医療研究センター	羽田
②	04. 15	社福) めぐみ会	新座	⑫	12. 01	ブロードメディア(株)	新座
③	04. 22	不二倉業(株)	新座	⑬	12. 13	(株)すかいらくレストランツ	新座
④	05. 27	IMS 医療法人	新座	⑭	02. 11	(株)ストアクロス	新座
5	06. 01	(株)精興社	新座	⑮	02. 12	(株)フレッシュサービス	新座
6	07. 16	ベイクド・ナチュレ(株)	羽田				
⑦	09. 01	ヤマト・スタッフ・サプライ(株)	新座				
⑧	10. 01	川越労働基準監督署	新座				
9	10. 01	ヤマト・スタッフ・サプライ(株)	新座				
⑩	10. 16	㈱しまむら ホームズ川崎大師店	羽田				

※(No) が新規就労先

※累計就労者数 267 名

② 事業活動の充実

i 新座

<パン事業>

収入 2,506 万(計画比 88.1% 前年比 94.3%)。新規取引先として勝呂作業所様、明光学童様、東北コミュニティセンター祭り様、栗原夏祭り様、武蔵野フーズ様、十文字女子大学社会福祉・保育コースとの協働によるみんなの広場☆きらり様を獲得した。

<ランドリー事業>

ヤマト運輸の旧制服や防寒服、親睦会のはっぴやユニフォーム、館内物流用制服等を中心に行った。

<ビルクリーニング業務>

新たなプログラムとして、ヤマト運輸(株)武蔵野主管支店の応接室、会議室、食堂の清掃業務を定期的に（週 3 回）実施した。これは初めての「施設外就労」となっている。

ii 羽田

(株)スワンと連携して、シューズ、ヘルメットの安定的な業務量を確保している。またヤマト運輸との協業案件である本郷学園、立教新座のリユース制服のクリーニングについて 4 月より正式に開始した。

iii 共通

<ビジネスマナー研修>

就労に必要な知識の習得を目指し、履歴書作成・面接練習・ビジネスマナー・個別学習（漢字や計算練習）・スーツ着用での出勤練習等を実施した。

③ 事業収支状況

事業収入は 2 施設合計で 3,566 万円、計画比 93.5%であり、247 万円未達となる。経費は 4,474 万円、計画比 97.8%と 101 万円圧縮したものの、事業収支は▲907 万円、計画差▲147 万円となった。

(単位:千円)

	収入				支出				収支差額		
	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画差
新座	28,960	25,709	88.8	▲ 3,251	34,797	32,691	93.9	▲ 2,106	▲ 5,837	▲ 6,982	▲ 1,145
羽田	9,176	9,954	108.5	778	10,944	12,044	110.1	1101	▲ 1,768	▲ 2,090	▲ 322
法人計	38,136	35,663	93.5	▲ 2,473	45,741	44,735	97.8	▲ 1,006	▲ 7,605	▲ 9,072	▲ 1,467

④ 工賃支給額

作業時間を基本に作業内容を勘案し、月間平均工賃 26,810 円（新座 27,058 円 羽田 26,562 円）を支給、前年比 846 円増となった。

⑤ 自立支援給付費収益実績

訓練給付金 6,321 万円 計画比 85.8% 計画差 1,047 万円未達となった。また、定着支援給付金 1,390 万円 計画比 82.9% 計画差 287 万円未達であった。

(単位:千円)

	訓練給付金				定着支援給付金				収入合計		
	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画差
新座	52,310	40,338	77.1	▲ 11,972	10,020	8,271	82.5	▲ 1,749	62,330	48,609	▲ 13,721
羽田	21,374	22,878	107.0	1504	6,762	5,637	83.4	▲ 1,125	28,136	28,515	379
法人計	73,684	63,216	85.8	▲ 10,468	16,782	13,908	82.9	▲ 2,874	90,466	77,124	▲ 13,342

※計画未達の理由は、訓練等給付費収益の欠損

(2) 就労定着支援事業

①サービス内容

- i 利用者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等の連絡調整やそれに伴い問題解決に向けて必要となる助言等の支援を行った。
- ii 利用者に来所してもらい、職員との面談や利用者同士の意見交換会、また羽田ではスワン工舎在籍利用者に対して経験談を含めたアドバイスを送るなど、年代を超えたつながりを持った。

利用契約者実績

施 設	今 期(新規)	累計 (平成 30 年 10 月～)
新 座	8	76
羽 田	3	36
計	11	112

※就労定着支援サービス利用期間：就労して 7 ヶ月以降の 3 年間（就労後 6 ヶ月迄は就労移行支援サービスでの定着支援）

(3) 就業・生活支援センター

①就業・生活支援センターの支援は、登録者、実習者、就業者の目標達成に努めた。

	計画目標	実績	計画比
登録者	59	73	+14
就業者	40	41	+1
実習件数	51	45	-6

②支援機関との連携をもとに、就労移行支援事業との相乗効果を意識して活動を推進した

6. 職員の育成

- (1) 朝礼、夕礼、グループミーティング、ケース会議等を通して全員で利用者の情報を共有する事により、サービスの質の向上を図る取り組みを実施した。
- (2) 利用者に就労の意識付けを行う為、利用期間 2 年間の標準プログラムを策定した。これに基づき、一人ひとりの希望に添った個人別支援プログラム（年間計画）を提示し、個別支援計画と連動した支援を推進した。

(3) 職員の就労支援技術の向上、特にアセスメント力を高めるため、職員研修等へ積極的に参加し、スキルアップを推進した。

- ①法人内研修 法人全体理念研修（正職員） 2回実施
 虐待防止研修（正職員） 2回実施
- ②法人外研修 ハラスメント研修、チームリーダー研修、就業基礎研修
 ファシリテーション研修、リスクマネジメント研修
 クレーム対応研修、サービス管理責任者等基礎研修、施設長研修
 訪問型職場適応援助者養成研修、業務管理体制整備研修

7. 実習生受入

- (1) 通所希望者 60名（各支援学校生徒47名、在宅13名）
- (2) その他 12名
 B型アセスメント2名 、体験実習（教師3名、中学生7名）

8. その他

- (1) 地域・ヤマトグループとの交流
 - ①「こども食堂」（NPO 法人 新座子育てネットワーク）へのパンの寄付
 - ② 日帰り研修として、公共交通機関を使い、さいたま市「しびらきファーム」にて「いちご狩り」を実施。
 - ③ 地域で行われたバザー等のイベントへパンの販売で参加
 - ④ ヤマトグループ親交会（ボーリング大会）への参加
 ヤマトグループ内の東京地域で仕事をしている障害者の方が参加するイベント
 - ⑤ 羽田クロノゲート夏祭りに参加
- (2) 卒業者のネットワーク構築
 - ① 第17回卒業者の集いは4月に開催し、卒業者72名、保護者8名が参加した。
 - ② 定着支援も兼ねて定期的に卒業者との交流会を開催した。
 開催回数・参加延べ人数
 新座 開催回数 12回 参加延べ人数 241名
 羽田 開催回数 12回 参加延べ人数 144名
- (3) 就業・生活支援センター
 - ① 関係機関との情報交換会を開催した。（南西部情報交換会）
 開催回数 4回 参加延べ人数 83名
 - ② 登録者との交流会を開催した。（ボーリング、カラオケ、調理実習たこやき作り）
 開催回数 3回 参加延べ人数 34名

以 上